

誰でも出来る？写真合成



2014年1月
株式会社サクセス

□イントロダクション

業務から得たノウハウを元に、クロマキー合成の手法を用いて短時間のうちに簡単に写真合成を行える手順を紹介します。

最近ではスマホのアプリにも写真合成が手軽に出来るものもありますが、今回はもう少し凝ってみたい人向けにPC上で画像編集ソフトを使った手順を紹介しています。

(必要なもの)

- ・合成用の写真、画像
- ・PC
- ・画像編集ソフト（Photoshopなどレイヤーに対応したもの）

※Adobe Photoshopは、アドビシステムズが販売しているビットマップ画像編集ソフトウェアです。

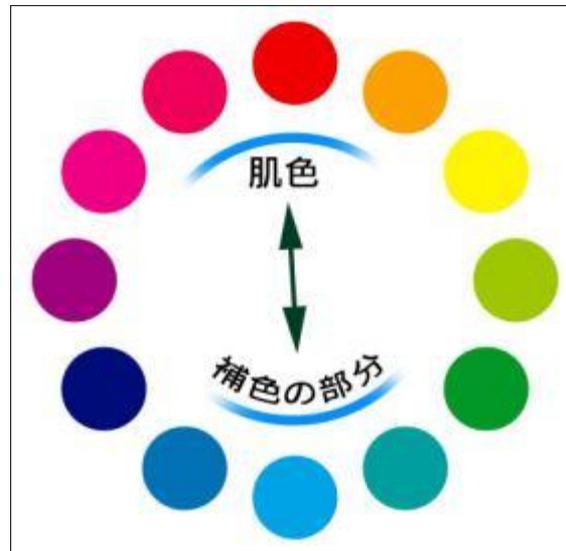
©AdobeSystems

□クロマキー合成とは？

クロマキー合成とは映像や画像の**特定の色(色域)**を透明にすることで別の画像と重ね合わせを可能にする合成方法の一種。

“クロマ”とは色の濃さ(彩度)の意味。

透明にするための背景の色に青や緑が使われるのは、合成の主な対象になる人物の、特に肌色に対して“**補色**”なため。



色相環上での相互の色の関係

□写真の撮影

クロマキー合成を前提とした写真の注意事項

- 服装、持ち物など背景に近い色はできるだけ避ける。
- 照明に気をつける。
 - 背景(色)の写りこみ防止。(別方向から2灯以上当てる)
 - 出来るだけ合成する背景と光源方向を合わせる。



□写真の撮影

・失敗例



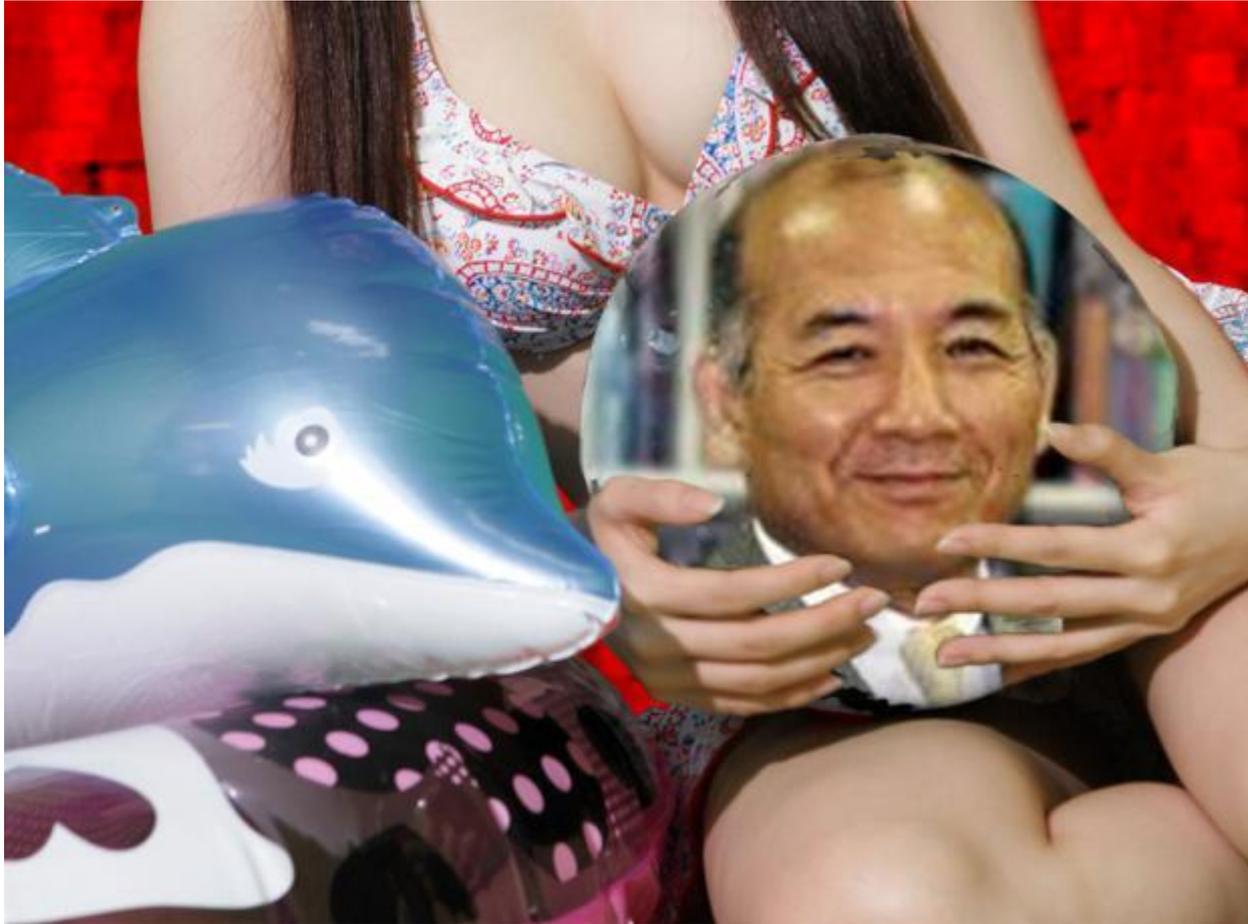
□写真の撮影

・失敗例



□写真の撮影

透明に抜けてしまうのを逆に利用してみるのも手の一つ！



□写真の「切り抜き」

Photoshopを例にした作業手順

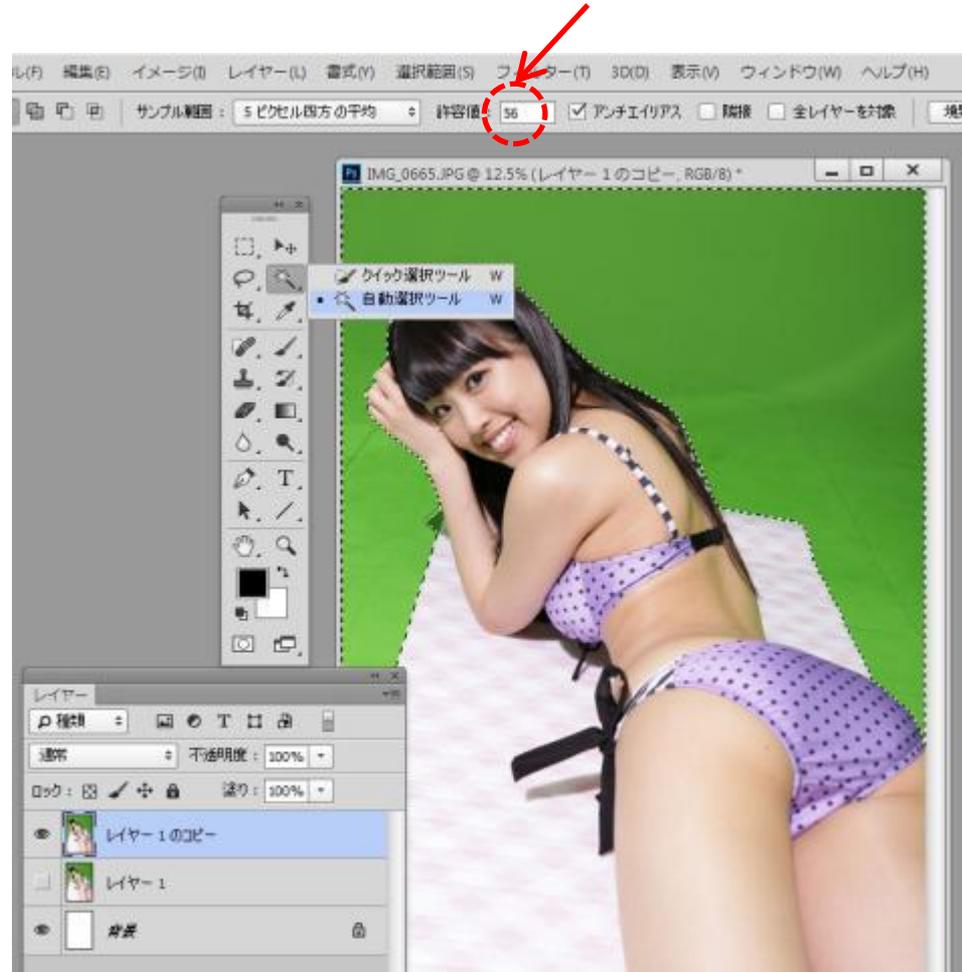
合成する画像をレイヤーに
変換する

↓
自動選択ツールを選択

↓
背景の任意の部分に
カーソルを持っていき、
クリック！

↓
するとカーソルの場所の
色に近い部分が選択される。

背景に色ムラがある場合には
この値を調整してから選択



□写真の「切り抜き」

Photoshopを例にした作業手順

合成する画像をレイヤーに変換する

↓
自動選択ツールを選択

↓
背景の任意の部分にカーソルを持っていき、クリック！

↓
するとカーソルの場所の色と同じ
(あるいは似た)部分が選択される。

↓
あとはそのまま選択部分を
カットしてしまえば
その部分が透明になります。

思い通りの選択範囲で
なければ調整してから
再度トライ。



□写真の「切り抜き」



気になる細かい部分は消しゴムツールなどで調整する。

丁寧に作業すればその分結果も良くなる。



□写真の「切り抜き」

ROBUSKEY for Photoshopプラグインの導入

ROBUSKEY® for Adobe® Photoshop®

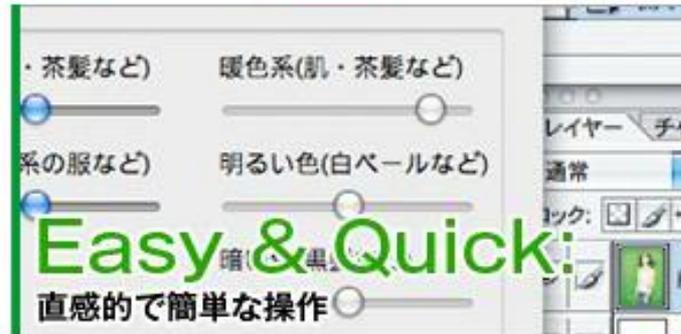
簡単な操作と、仕上がりの美しさ&自然さを両立。

プロフェッショナルからも高く評価される「ROBUSKEY®」が「抜き」の作業生産性を飛躍的に高めます。

ROBUSKEY®

こんなに簡単

操作手順解説ムービー



公式サイト <http://www.isp.co.jp/products/robuskey/photo/index.html>

□写真の「切り抜き」

ROBUSKEY for Photoshopプラグインの導入



操作画面

□写真の「切り抜き」

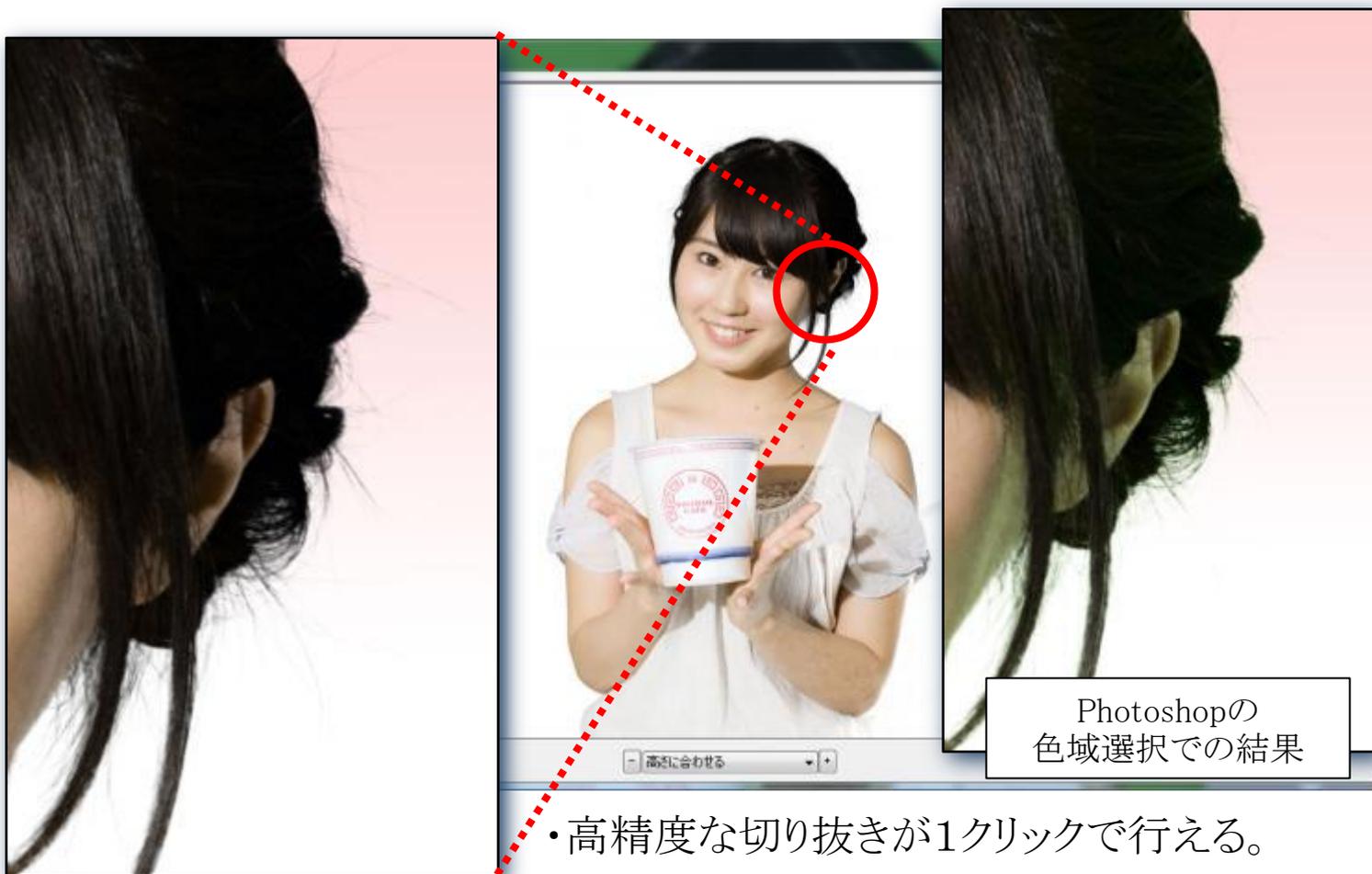
ROBUSKEY for Photoshopプラグインの導入



・高精度な切り抜きが1クリックで行える。

□写真の「切り抜き」

ROBUSKEY for Photoshopプラグインの導入



Photoshopの
色域選択での結果

- 高精度な切り抜きが1クリックで行える。

□写真の「切り抜き」

ROBUSKEY for Photoshopプラグインの導入

切り抜かれた
写真のマスク画像

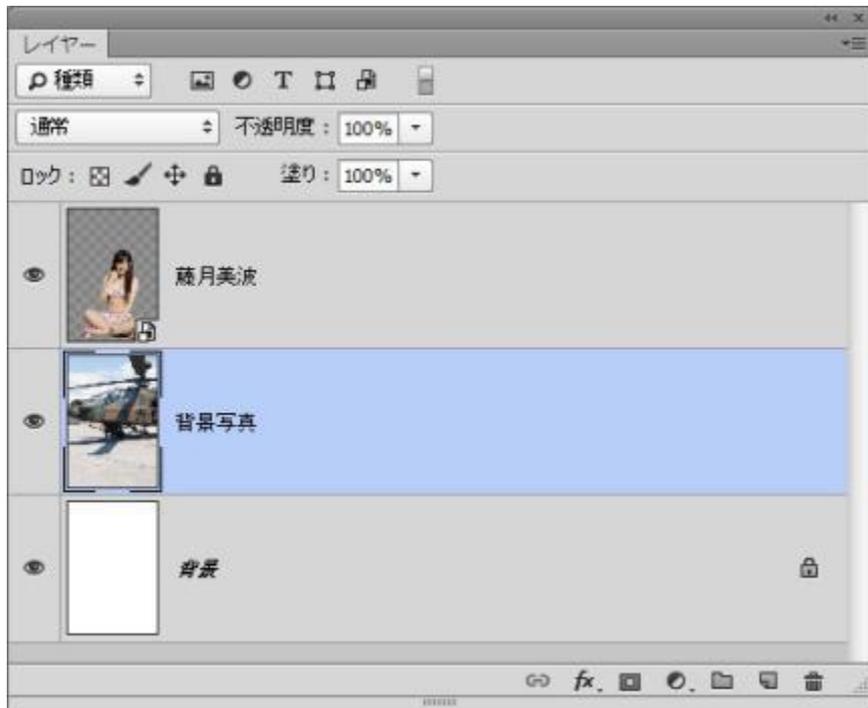


元画像によっては必ずしも全部綺麗に抜けるわけではない。

→きちんとした撮影も工期短縮のカギ。

□合成

背景写真と比べながら
自然な感じに近づけて行きます。

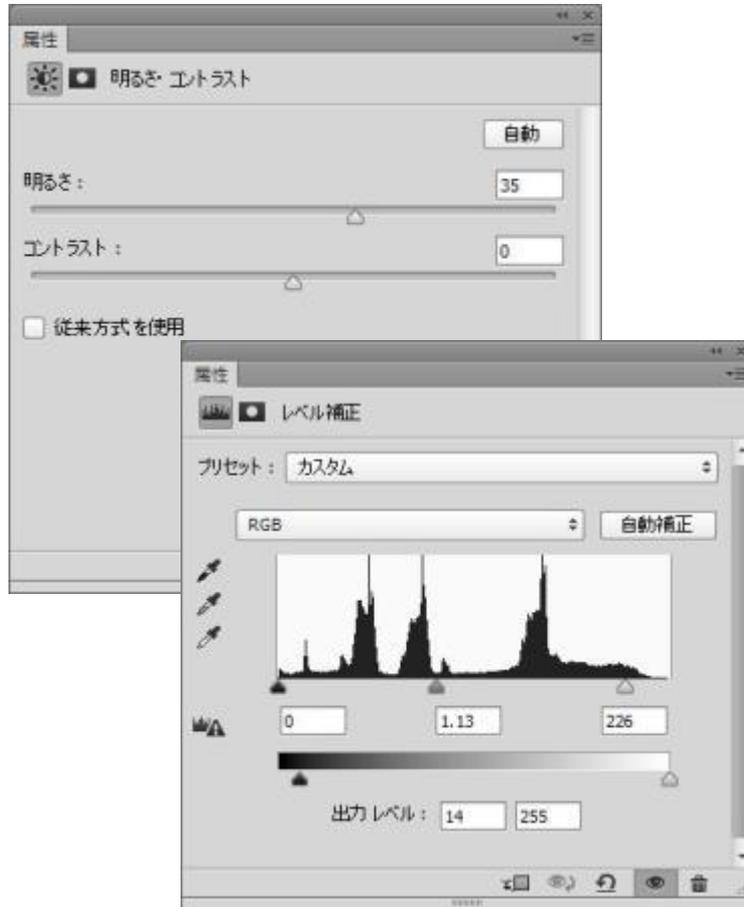


切り抜いた写真のレイヤーの下に
背景となる画像を入れる。



□合成

背景写真と比べながら
自然な感じに近づけて行きます。



□合成

貴方のアイデアで楽しい合成写真を作ってみましょう。

